

幼保小架け橋プログラム公開授業

(IN 祥豊小学校)

今年度スタートした祥豊小学校での研究プロジェクトの公開授業・事後研修会には、5小学校14就学前施設 計30名の先生方にご参加いただきました。授業を参観したり、子どもの心の育ちの連続性という視点で講義を聞いたり、グループ討議をしたりしました。

- 授業参観 (45分)
 - 事後研修会 (65分)
 - ・ 今日の授業について1年生担任より
 - ・ グループ討議のポイントについて
- <グループ討議>
- ・ まとめ

授業参観

生活科「なつとともだち」

授業での子どもたちの姿を参観しました。子どもたちは、たくさんの見学者がいても、担任の先生の話に興味をもって聞いていました。その後は、中庭に出て夏探しです。小さなバッタ、ネコジャラシ、万願寺唐辛子など、色々なものを見つけては、先生や友達に知らせ、喜びや驚きの気持ちを共有していました。コーンを触ると熱い、夏を触覚でも感じる子どもや「ネコジャラシを水につけてもすぐ乾く！」という発見をした子どももいました。教室に戻ってからは、見つけたことや感じたことをカードに書きました。伝えたい・書きたい思いをもって、懸命に書く子どもたちを、見守り、声をかけられている担任の先生の姿がありました。



事後研修会

公開授業の後は、研修会を行いました。1年生の担任の先生から、入学してからの子どもの姿を見て感じておられたことや本日の授業についてお話しいただき、その後、第6期プロジェクトアドバイザー大倉得史先生(京都大学大学院教授)から、グループ討議のポイントについて、お話しいただきました。

中庭では、並んで見て歩く予定でしたが、子どもたちが積極的に夏探しに行く姿を見て、先生の見える範囲で、自由に見て回ることにしました。



ポイント

「私は私」「私は私たち」という両面の心をしっかり備えた人間を育てていくという事が、保育・学校教育を通しての人間形成の一番の目標だと思います。目に見えない、子どもの心に思いをはせて、意見交換をしましょう。

グループ討議

積極的な話し合いで、予定時間を延長して、グループ討議を行いました。

まとめ

子どもたちがネコジャラシを見つけ、水につけてもすぐに乾く事を見しました。

就学前施設では、遊びの中で発展したことを広げ、探究のプロジェクトとして活動をつなげていくことができます。

小学校では、カリキュラムや最終目標があるので、ネコジャラシだけでは進めていけないところがあります。

★カリキュラムとミックスさせながら、子どもたちが自発的に探求・発展させていくことが、そのまま夏と友達になることにつながるような重ね方ができるといいなと思いました。

本日の授業は、子どもたちの体験、主体性・自発性、そうしたものを大事にしながら、それらを教師が教えた事柄とうまく組み合わせた素晴らしい授業でした。心の育ちがしっかりと保障されることは、学びの連続性にもつながります。また、保幼小連携に取り組むことで、個々人の力の向上、保・幼・小のチームとしての向上、さらに保幼小含めた地域としての子育て力の向上につながっていくでしょう。



アンケートより

(・のみ=就学前施設の先生、**小**・=小学校の先生)

・子どもたちが楽しそうに授業を受けている姿や友達と関わり合う姿がたくさん見られて良かったです。他の園の先生方の話を聞いたことも良かったです。

・子どもたちが学習に取り組む姿が生き生きしていて、多くの発見がありました。先生の授業が子どもの気持ちに寄り添ったもので、とても安心した中で育ち、学んでいるのだと思いました。

・生活科の授業は初めて見ました。園でも探検、自然見つけなどはよくしていたので、学校でも気づき、あそびから発展して、学びにつなげることを知ることができて良かったです。

・子どもたちの自然な行動や発言が見られたり、聞けたりして面白かったです。自分の思い(感じたこと、気づいたこと、考えたこと等)を文章にして、発表もできるようになるのだと驚きがありました。素直に思ったことを大きな声で伝えられる環境から、担任の先生だけでなく、クラスの友達との信頼関係、安心感がしっかり築けていけると感じられました。

小・幼稚園・保育園の先生のお考えを聞かせていただいて、「小学校」がどう見えているか、少しわかりました。一緒に子どもたちについてお話しできて良かったです。

小・先生は、子どもの話に傾聴し、色々なやる気スイッチを入れているので、子どもたちが「よし!やるぞ!」という気持ちになったと思います。保幼で育まれた学びが、小学校でさらに生かされるように教員が学びの連続性を意識した問いかけをしていく必要があると感じました。

研修会が終わった後には、担任の先生を囲んで談笑される姿や、小学校と保育園の先生がお話しされる姿もありました。これこそ、こどもみらい館が目指す保幼小連携です。大人同士が顔を見合わせ、子どもの姿を真ん中において、気軽に話ができる、そんな関係づくりのきっかけを作っていきたいと思います。

祥豊小学校の先生方、貴重な場を提供いただき、ありがとうございました!



●令和6年度 第6期研究プロジェクト

市内全域の教職員を対象として取り組んできた第5期研究プロジェクトでの成果を受けて、第6期研究プロジェクトでは、より身近な小学校区をフィールドとしてそれぞれの地域の特色に合わせた取り組み方で研究を進めています。

令和6年度も、「子どもを真ん中に 大人同士がスクラムを!」を合言葉に、祥豊小学校区、柵野小学校区をフィールドとして保・幼・小の関係者の皆様と取組を進めています。

●京都市立祥豊小学校

研修会

※8月21日 夏季休業の終わりに、京都市教育委員会 架け橋コーディネーター 國重初美先生をお招きして祥豊小学校で校内研修会を行いました。國重先生は事前に祥豊小学校を訪問し、祥豊小学校の実態を踏まえて、「幼保小の架け橋プログラム」について御講演くださいました。小学校の全員が受講し、文部科学省「遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽”～『やってみたい』から始まる学びの芽（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成～（youtube.com）」の視聴や意見交流を通して、学びました。



國重先生

講演・研修は、5つの項目を通して行われました。

- ①祥豊小学校ってどんな学校？
- ②幼保小の架け橋プログラムについて（その背景）
- ③幼保小の架け橋プログラムが目指すもの
- ④スタートカリキュラムについて
- ⑤京都市における幼保小の架け橋プログラムの方針

近隣の小学校からも1名御参加され、他校へもこの取組内容が広がっていけば、と願っています。

ゼロからのスタートじゃない!

子どもたちの“やってみたい”

「これまで」と「これから」

小学校全体で

参加者からは、「今の姿からこれから育てたい姿のイメージを考えることができました」「子どもたちが主体的に学ぶことが重視されている中、子どもたちが自発的に活動をしている幼児教育施設について学ぶことは非常に大切だと思いました」「子どもたちが幼児教育施設でやってきた学びの積み重ねを意識したり、授業展開を工夫したりしていきたいと思います」「これまで、入学後はなんでも教え、ゼロからのスタートのようになっていましたが、これからは『これまで』と『これから』の子どもたちの姿を考えながら、子どもたちの“やってみたい”気持ちを大切にしていきたいと思いました」「1～6年生全体で『自ら考えて行動できる』子を育てられるような取り組みを考えていきたいです」「小学校に入る前の子どもたちが、どんな環境でどんな学びをしていたのかを知ることで、より子ども理解につながり、また子どもたちの成長をさらに伸ばすことができるのだと思いました」「主体的な子どもたちの“やってみたい”という思いや願いを大切に、授業をつくっていききたいと思いました」等の感想をいただき、2学期から学びを活かしていきたいという熱い思いを感じました。

この研修を受け、次は、子どもたちの交流へと取組は進んでいます。



京都市立柘野小学校・柘野保育園・旭ヶ丘保育園

研修会



佐川准教授

※7月25日 夏季休業に入って間もなく、京都教育大学幼児教育科准教授 佐川早季子先生をお招きしての柘野小学校の校内研修会。「幼小接続のはじめの一步～幼児期の学びを小学校の学びにつなげるために～」と題した講演は、事前のリモートでの佐川先生、小学校、こどもみらい館の三者での、実態、趣旨、ねらい等についての話し合いを踏まえて頂いたもの。

途中に実践動画・画像、参加者の意見交流をはさみながら、

- ① なぜ、今、幼小接続なのか？
- ② 幼児期の教育と小学校の教育をつなぐ
- ② 子どもたちの声を引き出し、活かす保育・授業へ
- ③ できることからスタートしよう

の4本柱で講演・研修は進み、どんどん熱気を帯びて行きました。

遊びを通して学ぶ

やってみよう!

環境

遊び心

参加者からは「保育園・幼稚園の動画を見せてもらい、遊びを通して学ぶということがわかりました」「子どもたちには自分たちで課題を見つけ、解決しようとする力もあるので、そのための環境を整えなければと思いました」「保幼小にはギャップがあり、その解決には保幼小接続が大切なんだと学んだ」「これまでの研修の中で一番学びになった時間でした。これからやってみようと思える時間でした」「大きなハードルがたくさんありますが、『やってみよう』と思って前向きに頑張る方が楽しそう」「『遊び心』を持ってこれから子どもたちと関わろうと思いました」「まずは一つやってみよう」といった発言や感想で前向きな雰囲気にあふれていました。

今後、連携・接続主任、1年生担任を中心に「推進チーム」を組織し、全校挙げての取組にしていこうと思いを一つにする時間になりました。



保育園訪問・見学

よろしくお願いします

実際に見て大きな学び

※8月21日 「連携・接続推進チーム」のメンバーとこどもみらい館の担当者とで、学区内の2つの保育園を訪問。両園とも午前中の保育時間に都合をつけて、一行を迎えてくださいました。実際に子どもたちの遊びや生活の様子、先生の関わりや園の環境などを見学したり、お話を聞かせて頂いたりしました。まずは、「大人同士が顔を合わせる」という、できそうで、できていなかったことを達成。さらに、「子どもたちのために」連携・接続をしていきたいと思いますという思いも共有することができました。

関係者の皆様、ありがとうございました。



次は小学校に来て頂こう